

平成 20 年度

「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」

事例集

目次

目次

はじめに	1
平成20年度「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」実施団体一覧表	2
平成20年度「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」事業実施箇所位置図	3
よみがえれ銘柄材産地『東濃松の里・美濃白川』森林再活性化プラン	4
可茂南部100年の森づくりプロジェクト(都市近郊林業)	13
飛騨高山・間伐材テク作戦 ～宿儺の森プロジェクト～	24
H20実績集 (森プロ1期メンバー／平成19年度認定5団体)	33
H20森プロフォローアップ委員会開催結果	40

はじめに

平成 19 年度にスタートした「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」(以下森プロ)は今年度で 2 年目を向かえたが、今年度からは 1 期メンバー (5 団体) に加え、新たに 2 期メンバーとして白川町森林組合、可茂森林組合、飛騨高山・間伐材テク JV (飛騨高山森林組合、日和田林産(有)、(有)山下林業、エヌエフシイ(株)による JV) の 3 団体が参加し、活気を帯びてきた。

平成 19 年度から取り組んでいる 1 期メンバーは、引き続き健全な森林を育成するための路網整備や、低コストかつ生産性を高めるための作業システムの構築、森林所有者との連携や分かりやすい施業方法の提案といったことに重点を置きつつ、各団体とも説明責任を問われる事業提案を通じて、高い意識と事業体としての自覚と誇りを持って森プロに臨んでいる。

平成 19 年度は初年度ということもあり、森プロの取り組みが限定的にならざるを得ないメンバーもいたが、今年度はいずれも本格的に始動し、成果が明確に現れてきたプロジェクトも見受けられる。

また平成 20 年 11 月には、外部有識者によって構成される森プロフォローアップ委員会が開催され、これらの取り組みに関する評価、現状の課題の克服や今後のステップアップ等に関するアドバイスを受けたところであり、さらなる成果の発揮が期待されている。

次に、平成 20 年度に新たに森プロに参加した 2 期メンバー (3 団体) は、それぞれの地域、団体が抱える問題意識の下、独自のアイデアで計画・提案し、1 期メンバーに遅れをとることのないようプロジェクトに取り組み始めた。多数の団体で JV を組んでのプロジェクト始動や、最新の森林 GIS を最大限に活用する森林管理・施業提案など、将来的に大きな成果を期待できるプロジェクトの多さが 2 期メンバーの特徴である。

ところで平成 21 年 1 月 28 日には、平成 20 年度森プロに関する意見交換会が、森プロ 1・2 期のメンバーのほか、岐阜県森林組合連合会や(株)富士通総研、県庁林政部、県教育・試験研究機関のメンバーら総勢 48 名が参加して開催された。

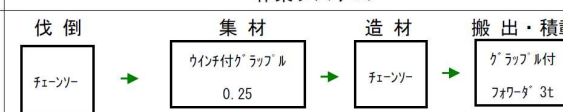
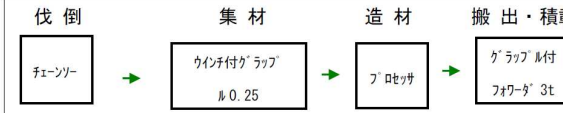
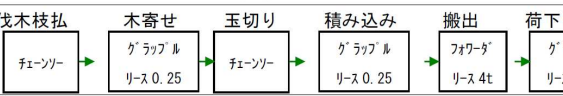
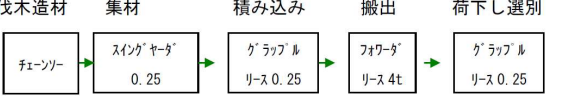
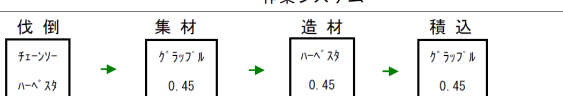
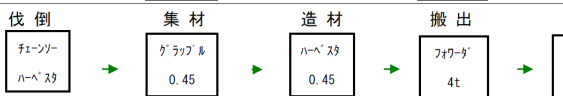

間伐と道づくりに関する討論や、今後何十年も先の森林の姿を考えた制度設計の提案など、活発な意見が交換されたが、このような意見交換の場で提案された内容が、プロジェクト推進の仕組み自体を変革させ、今後のさらなる飛躍へと帰結していくことを期待したい。

このような取り組みを通して、岐阜県の林業は従前に比べ技術面のみならず意識面においても進化を遂げつつある。特に平成 21 年度で 3 年目を迎える森プロを見れば、目先の収益性のみでなく持続可能な林業経営というコンセプトは着実に県内全域に根付きつつあることが伺える。最近では「目標林型」という言葉が良く聞かれるようになったのはそのことを象徴しているものといえよう。

まだまだ課題が多いことも事実であるが、今後も低コスト林業、効率的な作業システムとともに、森林の将来ビジョン・ランドデザインをさらに追求し、課題をクリアしていくことに意味がある。

今後の岐阜県の林業、そして日本の林業のためにも、森プロの取り組みは益々重要になってくる。

平成 20 年度 「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」実施団体一覧表

名称	事業型式	実施体制	団地面積 (ha)	集約化所有者数 (人)	所有形態	H20導入機械	新規導入作業システム	生産性 (m ³ /人日)		作業道幅員 (m)	H20作業道開設延長 (m)
								現状	目標		
よみがえれ銘柄材産地『東濃 檜の里・美濃白川』森林再活性化プラン	単独	白川町 森林組合	791ha	98人	大規模個人 + 小規模多数	・ウインチ付き グラブ ・フォワーダ	年度 ~ 2 年目 	1.8	5.2	3.0	2,036
							3 年目~ 				
可茂南部100年の森づくりプロジェクト(都市近郊林業)	単独	可茂 森林組合	892ha	352人	小規模多数		集材距離 20m 以内 定性間伐 全幹集材 	2.0	3.7	3.0~3.6	2,550
							20m~60m 列状間伐 短幹集材 				
飛騨高山・間伐材テク作戦	JV	・飛騨高山 森林組合 ・日和田林産(有) ・(有)山下林業 ・エヌエフ シイ(株)	564ha	102人	小規模多数	・スイング ヤーダ ・ハーベスタ ・フォワーダ	集材距離 0~30m 	3.0	8.0	3.6	5,843
							30~50m (フォワーダ 道あり) 				
							30~50m (フォワーダ 道なし) 				

H20「健全で豊かな森林づくりプロジェクト」 事業箇所等位置図 (地域森林管理・経営に関する研修会)



● H19 森プロ事業地
● H20 森プロ事業地



福井県

郡上

県



提案者名: 可茂森林組合
提案内容: 可茂南部100年の森づくりプロジェクト
(都市近郊林業)
実施場所: 加茂郡七宗町神淵地内
団地面積: 892ha 集約化人数: 607人
導入機械(H21予定): グラッブル(0.45)



名神高速自動車道

三重県

愛知県

